

令和4年度 第9回 ゲーム部会記録

令和4年7月22日（金）

三鷹市立第六小学校

参加者

吉田 川西 隈部 西山 安藤 齋藤 藏部 植村 捧 高田 小林（ま） 長坂 岸田 西山
杉浦 渡邊 五箇野

1 いろはのい 「自己紹介+体育関係の悩みの共有」

2 今日の流れの確認 （吉田先生）

3 自己評価の力を高めるとは

○自己評価の力の捉え方

自己評価＝「自己目標や設定した課題について修正したり、自己の活動の軌道修正したりするもの」

○自己評価能力の構成要素

「目標設定力」・・・活動の目標を適切に設定する力

「メタ認知力」・・・自己の活動をモニタリングし、活動や目標をコントロールする力

「評価力」・・・自己の取組や活動を総括する力

→これらの力をゲーム部の提案と関連させると

①魅力的な教材・・・目標設定力

②課題並列的な学習過程・・・目標設定力、メタ認知力

③自ら学びを進めていくことができるように・・・評価力、メタ認知力

→「評価力」を高めていくための手立てを今後考えていく必要がある。

○自己評価力の構成要素についての考えの情報共有

・ボールを持たない時の動きの段階表だけで評価力は高まるのか？

・魅力的なゲームと出会うことが目標設定力の高まりにつながるのか？

・評価力＝総括する←行ってきた活動の成果や反省を評価すること。

自ら学びを進めていく＝判断基準を明確にする必要がある。

・③に目標設定力が入るのではないか。授業の中で①②③を効果的に繰り返すことで「評価力」が高まっていくのではないか。

・①～③の中でどれくらい関係しているのか、一般の人がわかるように示していきたい。

4 夏季合研に向けての確認

5 チームに分かれて活動

6 話し合いの報告

○ゲームチーム ・提示の仕方工夫 ・ゲームの内容

○ボールを持たない時の動き ・自己評価の力を高めることまでいくことは難しい

○課題並列 ・学習課題の項目の説明と定義の明確化 ・課題の提示の仕方

7 安藤先生より

8 今後の流れ

○資料の提出締め切り 7月29日（金） 各自資料を確認し、8月2日を迎える。

文責：小林 祐也（江戸川区立北小岩小学校）